



神奈川県 農業技術センター

—かながわ農業を支える技術開発と普及—

Kanagawa Agricultural Technology Center



ICTトマト温室



ウメ「翠豊」



ナス「かな紫」



イチゴ「かなこまち」

神奈川県農業技術センターでは、技術開発と普及指導をとおして、都市と共存し、産業として自立した「かながわ農業」の実現を目指しています。また、県民に開かれたセンターを目指し、積極的な情報提供をしています。

かながわ農業活性化指針と研究・普及の取組方向

農業の活性化による地産地消の推進

—魅力ある農業を次世代につなぐ—

■目標年度 2032(令和14)年度

基本目標を実現するための3つの施策の方向

1 生産性の向上と担い手の育成・確保【生産】	2 新鮮で安全・安心な魅力ある農畜産物の利用拡大【消費】	3 環境に配慮した農業の推進と生産環境の保全【環境】
<ul style="list-style-type: none">●多様な担い手の育成・確保及び経営発展段階に応じた支援●農畜産物の生産の拡大や産地の強化に向けた支援●新品種の育成や新技術の開発及び生産現場への普及●畜産経営の体質強化に向けた総合的な支援●農業生産基盤の整備と農地集積の促進及び農地の有効活用●災害等のリスク対策の取組強化	<ul style="list-style-type: none">●農畜産物のブランド力の強化や付加価値向上の支援●ニーズの変化等に対応した流通・販売対策の支援●農畜産物の安全・安心と食育の推進	<ul style="list-style-type: none">●環境に配慮した農業の推進●農地等の活用・保全●農業の有する多面的機能等への県民の理解促進●鳥獣害対策の推進

試験研究の方向と試験研究目標 (2023~2027年度)

かながわの都市農業の持続的な発展を支援する農業技術の研究・開発を行います

- 1 スマート技術を活用した農業生産・販売力の強化
 - ①かながわらしいスマート農業を促進するための技術開発
 - ②かながわ特産品の有利販売を支援するための技術開発
- 2 かながわ特産品の開発と地域農業の活性化
 - ①新たなかながわ特産品の開発
 - ②県民ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発
 - ③農産物の生産段階の安全・安心を確保するための技術開発
 - ④地域農業の活性化を支援するための技術開発
- 3 農業生産の環境負荷軽減や脱炭素化への貢献
 - ①農業生産の環境負荷を軽減するための技術開発
 - ②農業生産の脱炭素化を実現するための技術開発

普及指導活動の課題 (2022~2026年度)

試験研究部門等関係機関と連携し、技術指導を軸とした普及活動を展開します

- ①担い手の育成・確保に関する支援
- ②県民ニーズに応じた安全・安心な農畜産物の生産・販売の取組みに対する支援
- ③スマート農業の取組みに対する支援
- ④気候変動への対応等環境対策や自然災害等への取組みに対する支援
- ⑤地域農業の振興を図るための取組みに対する支援

主な育成品種・開発特許

(令和5年11月末現在)

【主な育成品種】

※出願中 ※※非登録

■野菜

キュウリ「相模半白」※※
タマネギ「湘南レッド」※※
ネギ「湘南一本」
ナス「サラダ紫」
トマト「湘南ポモロン・レッド」※※
トマト「湘南ポモロンレッド35R」※
トマト「湘南ポモロン・ゴールド」※※
トマト「湘南ポモロンゴールドG4」※
トマト「湘南ポモロンショコラ」※
ダイコン「湘白」
ナス「かな紫」※

イチゴ「かなこまち」※

■果樹

カンキツ類「湘南ゴールド」
ウメ「翠豊」※
ウメ「十郎小町」
ウメ「虎子姫」
ナシ「なつみず」
ナシ「香麗」

■花

スイートピー「リップルショコラ」
スイートピー「リップルピーチ」

スイートピー「スプラッシュブルー」※※
スイートピー「スプラッシュパープル」※※
スイートピー「スプラッシュレッド」※※
スイートピー「スプラッシュヴィーノ」

■観賞樹

サルスベリ「ディアパープル」
サルスベリ「ディアルーージュ」
サルスベリ「ディアウィーピング」
アオキ「湘南ひこぼし」
アオキ「湘南おりひめ」
ヤAPONノキ「八剣枝垂れ」※

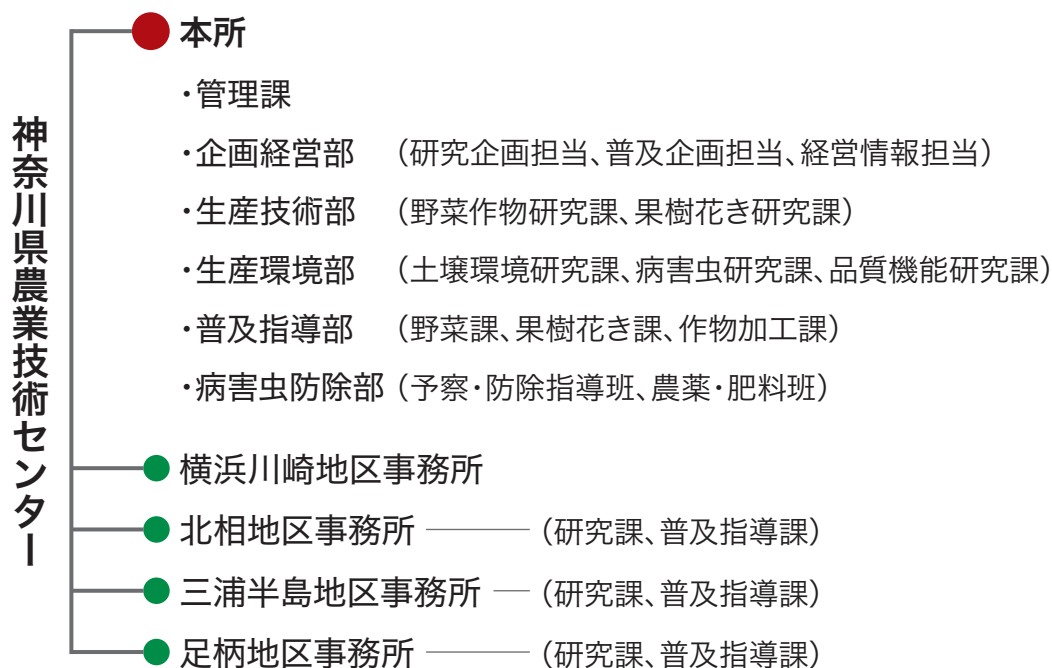
【開発特許】

- ・樹木の樹体ジョイント仕立て法
- ・植物の育成方法
- ・アザミウマ防除剤およびその利用
- ・振動による害虫防除及び作物受粉の方法
- ・害虫の天敵生物を作物に定着させる薬剤及び害虫の天敵生物を作物に定着させる方法※

沿革

- 明治29年(1896) 農事試験場創設 横浜市岡野
明治41年(1908) 橘樹郡保土ヶ谷町へ移転
大正11年(1922) 鎌倉郡大船町岡本へ移転
昭和28年(1953) 農業試験場と改称
昭和34年(1959) 平塚市寺田縄へ移転
昭和44年(1969) 農業総合研究所と改称
平成 7年(1995) 農業総合研究所、園芸試験場及び蚕業センターを統合
平塚市上吉沢へ移転
平成17年(2005) 農業総合研究所、肥飼料検査所、
6地域農業改良普及センターを統合
農業技術センターを設置
平成19年(2007) 病虫害防除所を統合
平成25年(2013) 4研究部を企画経営部、生産技術部、生産環境部に再編

組織

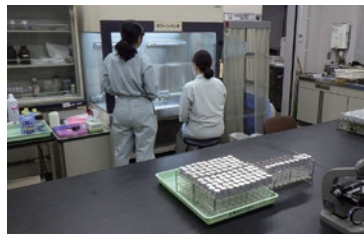


公開施設(オープンラボラトリー)

県民の方が自主的に調査、技術の習得、新製品の試作などを行うことができる開放実験室です。



- 農産加工実験室
農産物の加工技術を習得するための支援、地域の特産品となる新製品の開発や試作ができます。



- 生物工学実験室
生長点培養などの技術の習得ができます。

企画経営部

農業技術センターで実施している試験研究や普及指導活動に関する総合的な企画・調整、県農林水産系試験研究機関相互の連絡・調整及び試験研究と普及指導に関する広報等を行っています。また、農業経営研究及び県産農産物を広く県民に届けるための流通販売に関する調査研究を行っています。



試験研究成果発表会



イチゴ「かなこまち」の市場調査

生産技術部

かながわ特産品の創出を目指した新品種育成や地産地消を拡大するための生産技術、省力化・省エネに関する技術等の試験研究を行っています。

ICT(情報通信技術)を活用したスマート農業

●環境制御温室

トマト養液栽培での試験



高設イチゴ栽培での管理作業



ジョイントV字トリス樹形



野菜、果樹、花き、観賞樹の新品種育成



イチゴ「かなこまち」



ナス「かな紫」



トマト 湘南ポモロンシリーズ 左から「湘南ポモロンレッド35R」、「湘南ポモロンゴールドG4」、「湘南ポモロンショコラ」



ナシ「香麗」



ウメ「翠豊」



スイートピー スプラッシュシリーズ 左から「スプラッシュレッド」、「スプラッシュヴィーノ」、「スプラッシュブルー」、「スプラッシュパープル」



ヤпонノキ「八剣枝垂れ」

生産環境部

環境にやさしく、安全・安心でおいしい農産物を提供するため、施肥や病害虫防除技術、品質評価技術等の試験研究を行っています。

難防除病害虫に対する対策技術の開発



赤色ネットによる害虫防除試験



トマト黄化葉巻病



ウイルスを媒介するコナジラミ類

効率的な適正施肥技術の開発・農耕地の定期的な土壌調査

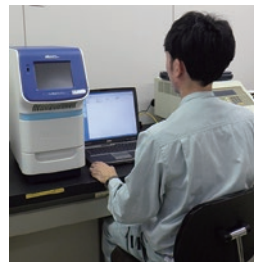


現地での土壌調査



堆肥連用試験(トウモロコシ)
(左 堆肥+化学肥料、右 化学肥料)

農産物の品質評価・品質保持技術等の開発



県産農産物の
品質評価技術の開発



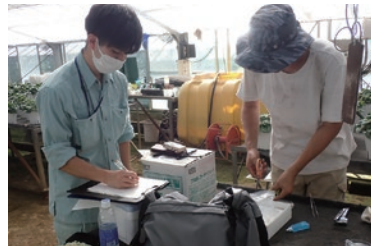
NPO法人と共同開発
した加工品

普及指導部

湘南・県央地域の農業の担い手育成、新しい生産技術の導入や地域特産品の販売に関する助言指導など、農業経営の改善や地域農業を振興するための普及指導を行っています。



担い手育成のためのセミナー



花き鉢物生産者への技術指導



有機栽培生産者への技術経営指導

病害虫防除部

農産物が安定的に生産できるよう病害虫の発生状況やその防除方法に関する情報提供を行うとともに、農薬取締法及び肥料の品質の確保等に関する法律に基づく立入検査や講習会等を行っています。



予察灯による水稻の
害虫発生状況調査



施設イチゴの病害虫発生状況調査



農薬安全使用に係る講習会

地区事務所

横浜川崎地区事務所

横浜市・川崎市の農業の担い手育成、新しい生産技術の導入や地域特産品の販売に関する助言指導など、農業経営の改善や地域農業を振興するための普及指導を行っています。



担い手育成のためのセミナー



ナシ天敵放飼実証ほでの講習会



現地における生産者への助言・相談対応



農産加工の講習会

北相地区事務所

北相地域の特産野菜と県全域の茶の生産技術に関する試験研究の他、農業の担い手育成、野菜や果樹の栽培等に関する普及指導を行っています。



新規就農者を対象とした基礎セミナー



根深ネギの4、5月どり栽培方法の試験



地域特産物(ヤマトイモ)の品評会審査



「やぶきた」一番茶の機械による収穫

三浦半島地区事務所

三浦半島地域のダイコン、キャベツ、スイカ、カボチャ等特産野菜の生産技術に関する試験研究の他、農業の担い手育成、特産野菜の栽培等に関する普及指導を行っています。



三浦ダイコンの小型化に関する研究



ダイコン栽培における省力化技術の検討



新規就農者向けの農業セミナー



アシストスーツの導入支援

足柄地区事務所

県西地域のカンキツ、キウイフルーツ等の生産技術に関する試験研究の他、農業の担い手育成、野菜や花き、カンキツ、ウメ等の主要作物と県全域の茶の栽培等に関する普及指導を行っています。



「湘南ゴールド」の調査



一番茶の摘採指導



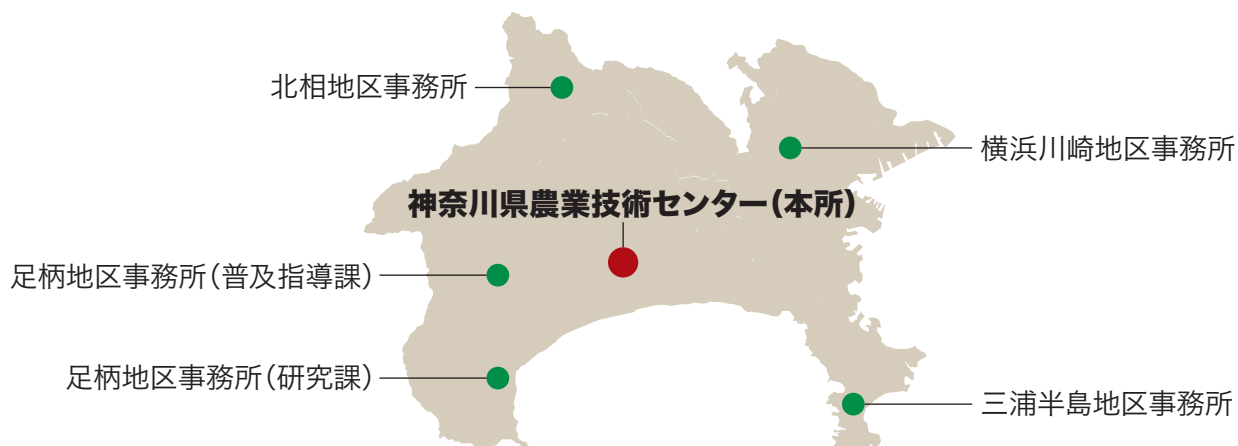
レモンの早期成園化に向けた苗木の管理講習会



新規参入者に対するトマト栽培指導

連絡先／施設概要

名称・住所	電話番号・FAX	土地	建物	棟数
●神奈川県農業技術センター(本所) 〒259-1204 神奈川県平塚市上吉沢1617	電話 (0463)58-0333 FAX (0463)58-4254	191,798㎡	22,316㎡	81棟
●横浜川崎地区事務所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076 (横浜農業合同庁舎内)	電話 (045)934-2374 FAX (045)931-8246	—	専有面積 231㎡	—
●北相地区事務所 〒252-0176 相模原市緑区寸沢嵐620-2	電話 (042)685-0203 FAX (042)685-2224	34,836㎡	1,128㎡	11棟
●三浦半島地区事務所 〒238-0111 三浦市初声町下宮田3002	電話 (046)888-3385(代表・研究課) 電話 (046)888-3324(普及指導課) FAX (046)888-1509	27,997㎡	1,798㎡	14棟
●足柄地区事務所(普及指導課) 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2 (足柄上合同庁舎内)	電話 (0465)83-5111(代表) FAX (0465)83-7214	—	専有面積 300㎡	—
●足柄地区事務所(研究課) 〒250-0024 小田原市根府川574-1	電話 (0465)29-0506 FAX (0465)29-0019	31,728㎡	1,727㎡	15棟



本所への交通案内

公共交通機関利用

●JR平塚駅→吉浜

- 北口バス乗り場(神奈中バス)
 - ・神奈川大学行(平37・38系統)
 - 吉浜下車徒歩5分
- 中沢橋経由
 - 秦野駅南口行(平76系統)
 - 吉浜下車徒歩5分

●小田急秦野駅→吉浜

- 北口バス乗り場(神奈中バス)
 - ・神奈川大学行(秦38系統)
 - 終点で平塚駅北口行に乗り換え
 - 吉浜下車徒歩5分
- 南口バス乗り場(神奈中バス)
 - ・中沢橋経由 平塚駅北口行(平76系統)
 - 吉浜下車徒歩5分

お車等利用

- 東京方面から
 - 小田原厚木道路
 - 平塚ICより約20分
- 名古屋方面から
 - 東名高速道路
 - 秦野中井ICより約30分



神奈川県

発行:神奈川県農業技術センター

平塚市上吉沢1617 電話 (0463)58-0333 FAX (0463)58-4254

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f70030/>

